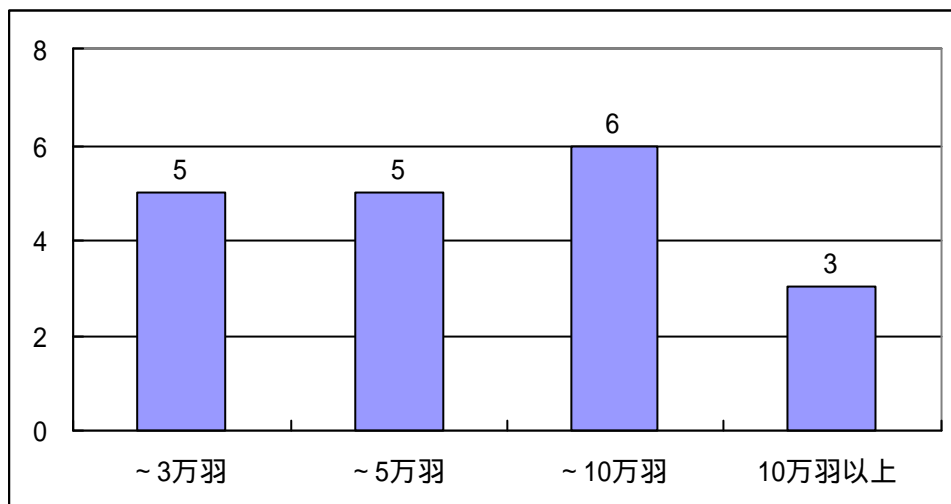


牧場見学等の取り組みについてのアンケート結果(養鶏)

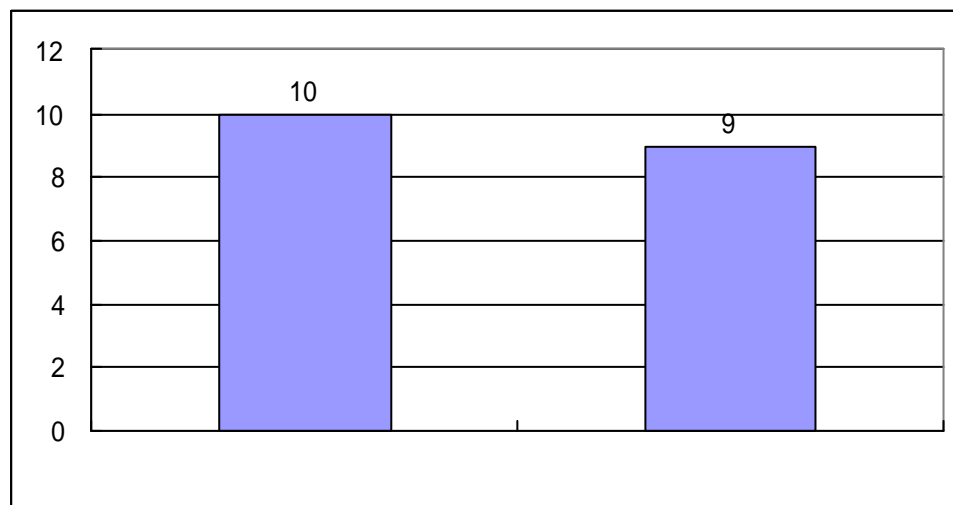
回答者数 19人

【飼養規模】成鶏



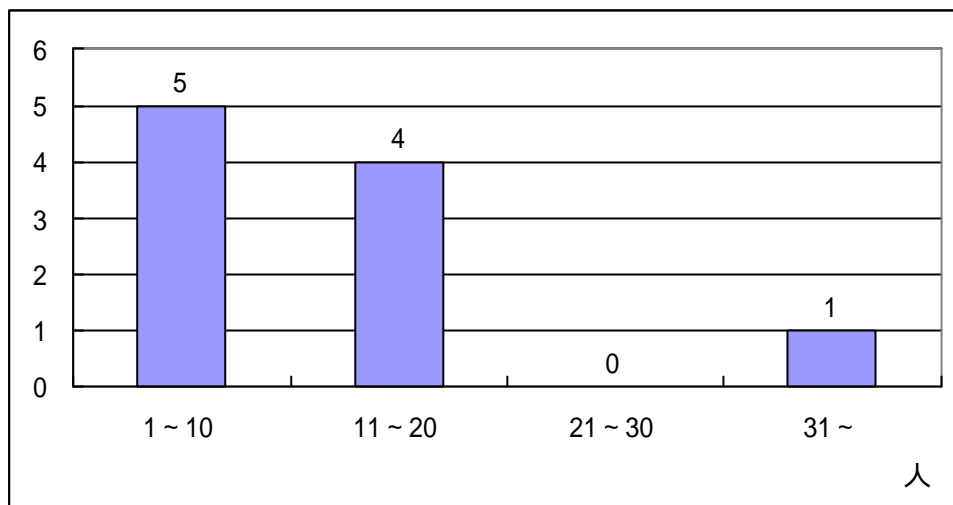
これまでに経験した牧場見学等の実態についてお尋ねします。

- Q1 最近3年間のうちにあなたの牧場へ、消費者、児童・生徒等の牧場見学等がありましたか？
あった なかった （ の「今後について」の回答をお願いします。）

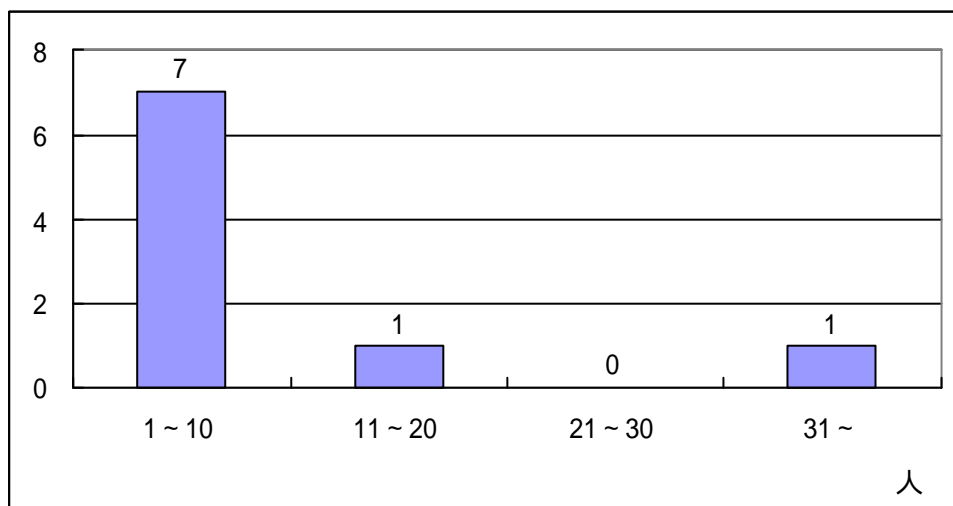


Q2 見学等の参加人数、回数等は？

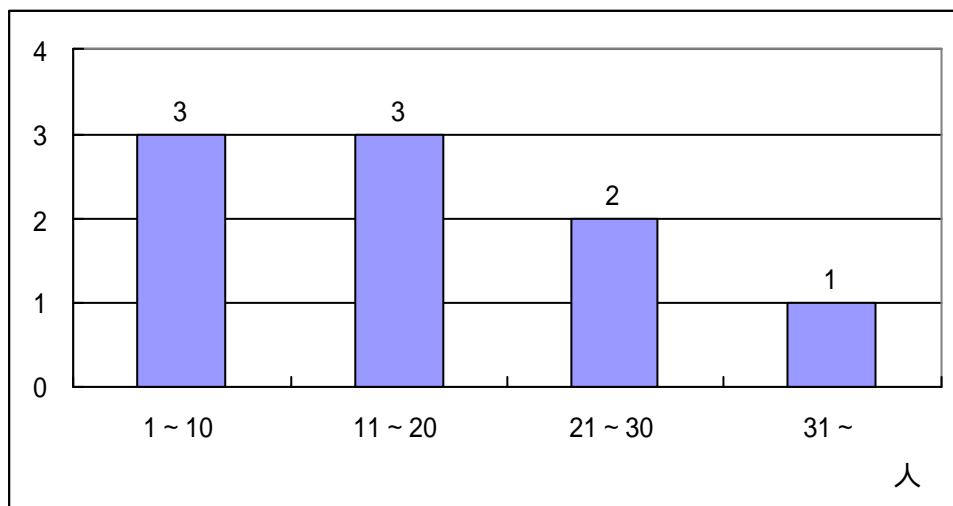
ア)1回あたり平均で何人程度ですか



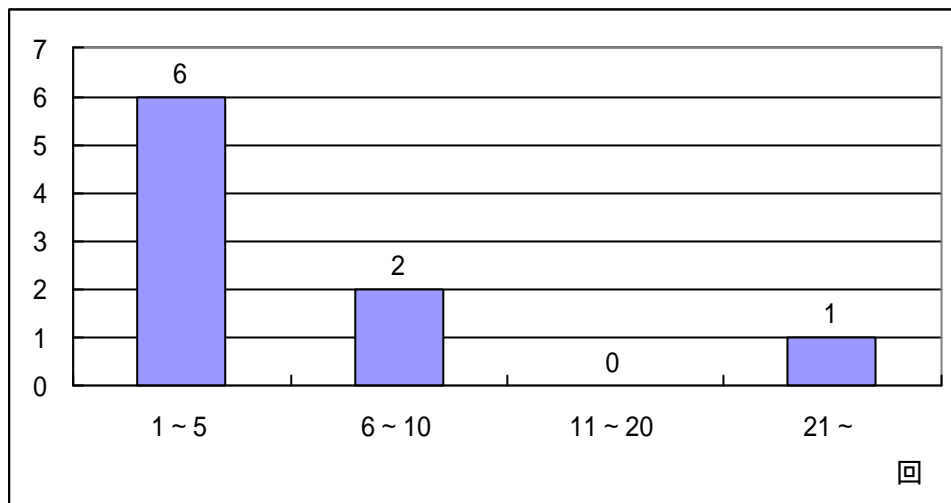
少ない場合は何人程度ですか



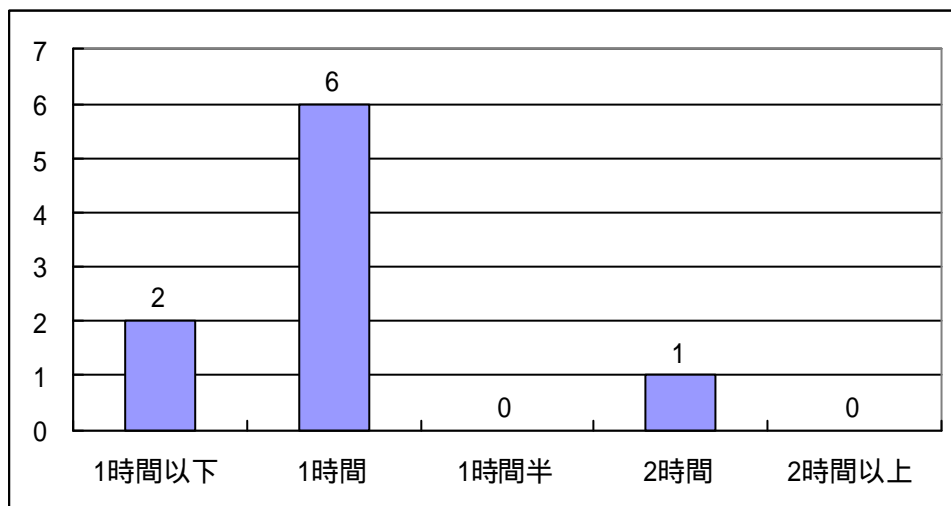
多い場合は何人程度ですか



1)この3年間で何回程度ですか

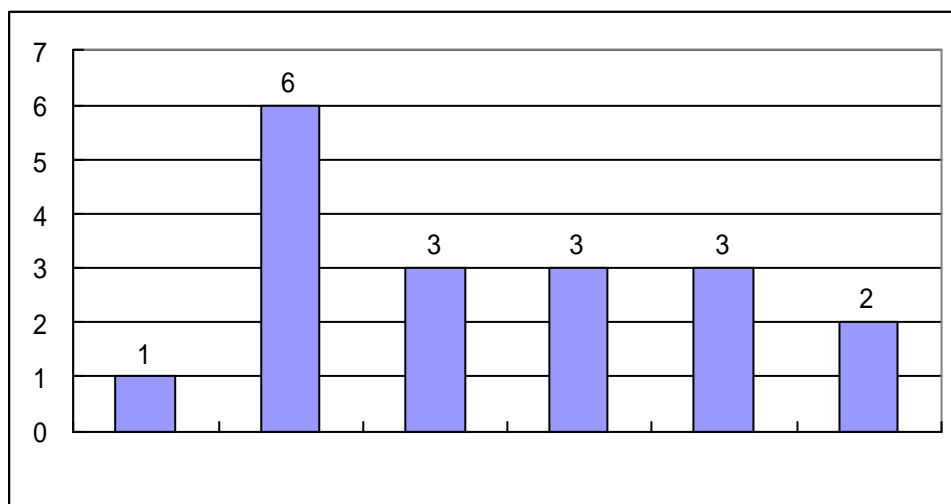


ウ)1回当たりの平均的な所要時間は何時間程度ですか(訪問者の牧場滞在時間)



Q3 見学等牧場を訪問した対象者は?(複数回答可)

保育園・幼稚園児 小学生 中学生以上の学生 一般消費者 顧客
その他(高校の調理科、栄養士・調理師(病院・学校関係)、業界関係者)



Q4 牧場を訪問して実施した内容は？（複数回答可）

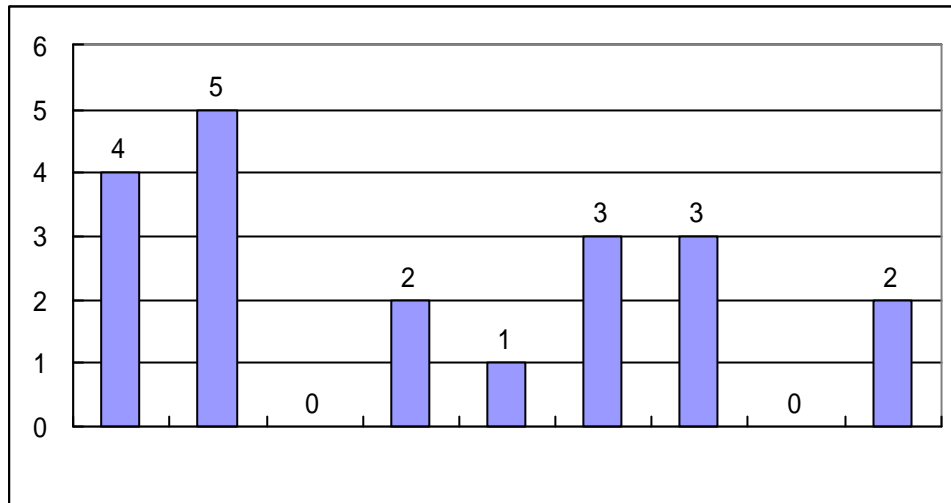
場内見学
意見交換

畜舎内見学
職場体験

スケッチ
トラクタ試乗等

エサやりなど飼育体験の一部
その他（GP 見学）

畜産物加工

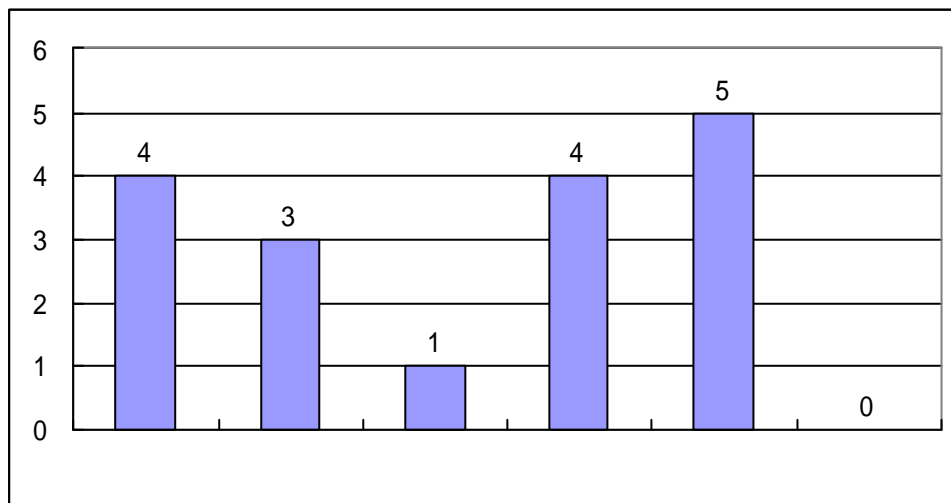


Q5 牧場訪問を受けて、よい効果が生まれましたか？（複数回答可）

畜産の理解に役立った
食育の一環に寄与できた

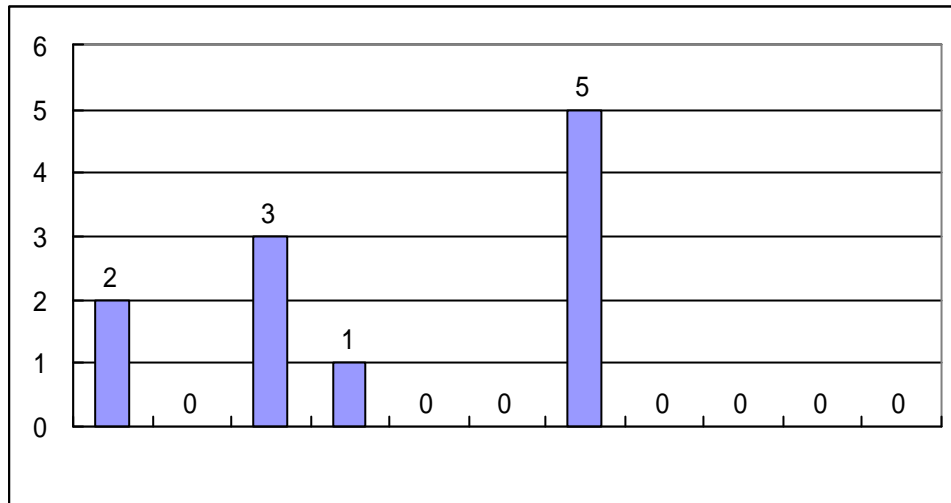
畜産物の理解に役立った
訪問者に喜んでもらえた

販売促進につながった
その他



Q6 牧場訪問を受けて、困ったことはありますか？（複数回答可）

訪問前の準備が大変 訪問者への説明が負担 時間に拘束される 費用がかかる
 見学者の態度に不満がある 家畜へのストレス等の影響が心配 防疫について不安
 資料が作れない 訪問者の事故が心配 訪問により悪い印象が残った その他



Q7 牧場見学、食育活動等に関してご意見がありましたらご記入下さい。

- もっと畜産現場を知ってもらいたいが、防疫面で現在は全て断っています。この矛盾を何とか理解してもらいたい。
- 食に対し、正確な知識を持って欲しい。

今後の牧場見学等についてお尋ねします。

Q1 今後も牧場見学等を受け入れますか？（複数回答有）

受け入れる

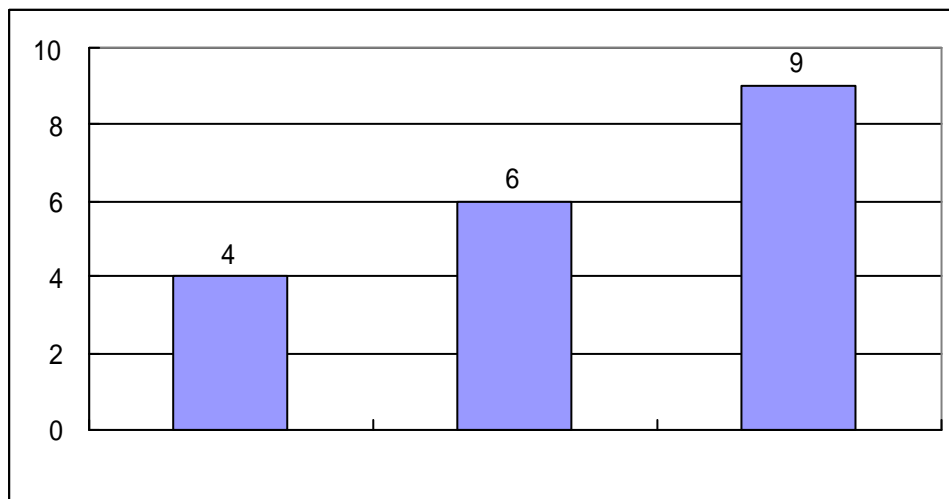
条件により受け入れる

【具体的に】

- 防疫
- GPのみ（少人数で）
- case by case)

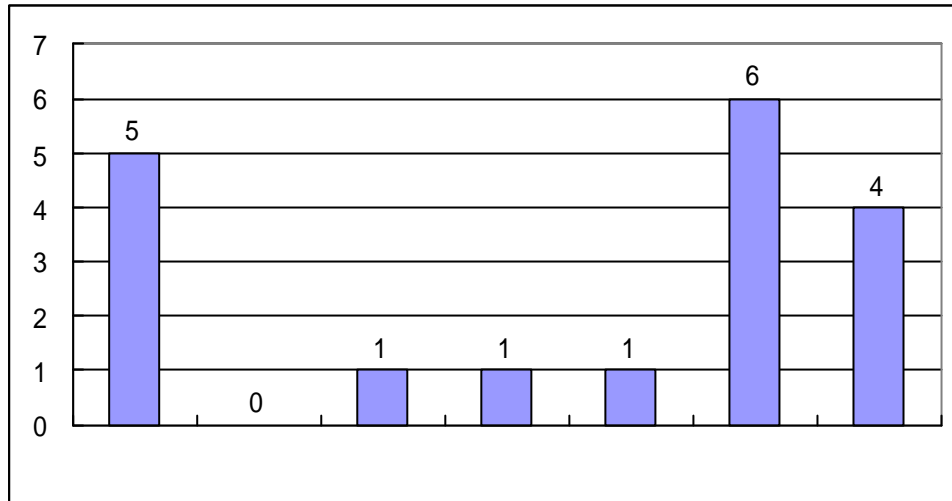
- 鳥インフルエンザが解決した後
- 鳥インフルエンザの防疫のため困難

受け入れは困難



Q2 牧場見学等を受け入れる場合、必要と思われること何ですか？（複数回答可）

- 事前準備の支援 訪問者等からの費用負担 訪問者へのサポート(他組織の支援)
 事故対策(保険も含めて) 他牧場の対応状況についての情報 地域との共存意識
 その他
 (防疫重要、 病気予防のため外部者はお断りしている、 家畜へのストレス)
 (衛生問題(服装・消毒等の設備物が入用になりますので))



Q3 今後、牧場見学等を受け入れたり食育活動等に参加したりするに当たり、ご意見がありましたらご記入下さい。

- 養鶏場は鳥インフルエンザの防疫のため、見学は流通業者の方であっても鶏舎への入場はお断りしています。本来は鶏や卵について一般の方や学生の方に見学してもらって、ふれあいを深めたいのですが。
- 将来を担う子供達に、畜産業や食育教育で正しい理解の場を提供する事は大切と考えますが、鳥インフルエンザの防疫を考えると、まず最優先は防疫になってしまいます。
- 現場を見てもらい、意見交換で養鶏の実態をよく理解してもらい、食卓に卵が並ぶまでを話せば小学生にもよくわかって頂けると思う。
- 最近は鳥インフルエンザで基本的に断っている。
- 当面の間、鳥インフルエンザ対策の一環として、従来行ってきた「たまごひろい体験」は休止します。状況を見て今後判断致します。